



# よこと館だより



Est. 1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

## 理事長閑話 うめ草④

∞∞ スリランカの旅～2～ ∞∞

戦後、法人母体の曹洞宗雲龍寺住職であった正明師は、軍隊から復員し焼け野原となった地元八王子の復興に取り組みました。そして戦後日本の独立を協議する 1951 年のサンフランシスコ講和会議でのセイロン政府代表、後の首相で第 2 代大統領となったジャヤワルダナ氏が、仏教の寛容性の視点から日本の真の自由と独立を支持する名演説を行いました。そして戦争賠償権を放棄した事に心から感謝の念を抱き日本の恩人として境内に立派なジャヤワルダナ氏の銅像を建立、爾来民間外交としてセイロンとの関係を深めてきたのです。

今回の旅はジャヤワルダナ氏の記念館を訪ね、職員も参加する「報恩の旅」でした。同時にコボンボ近郊にある吉田財団の幼稚園を訪問しました。ここは日本人吉田多輝子さんの援助で建てられ、現在高校まで併設されている教育機関です。スリランカにおける幼児教育を普及させた大変重要・有名な学校だそうです。可愛い園児と、とても美しい民族衣装の先生方に目がチカチカしました。



吉田財団幼稚園の  
園児と先生方

世界遺産の町キャンディでは南アジア最大の仏教のお祭りペラヘラ祭りを見物しました。とにかく火と音楽、そして電装象が夜 8 時から明け方まで行列を作って練り歩きます。たいした迫力でした。



ペラヘラ祭り  
電飾象と踊り・楽隊

実はこのスリランカ訪問の隠れた目的は秋からスリランカの若者を技能実習生として至誠ホームで採用します。どんな国民性なのかを探る旅でもありました。穏やかな自然と歴史を持った尊敬される国と人々、これが印象です。そして帰国の飛行機で技能実習生として日本を目指している若い女性グループと同乗していたのに運命的な出会いを感じました。(10 月には 2 名の技能実習生がスリランカから来日、採用されました。)

理事長 橋本正明

## 事業本部長メッセージ

先日、孫に誘われ国営昭和記念公園に行きました。秋晴れの下いちょう並木やコスモスの丘など秋を満喫する多くの人々が訪れていました。この公園は、昭和天皇御在位五十年記念事業の一環として国が立川基地跡地に 5 年をかけて整備し、今から 35 年前の昭和 58 年 10 月 26 日、昭和天皇臨席のもと開園しました。



開園式には至誠学園に本部を置くボーイスカウト立川第四団の代表スカウトも参加し記念植樹をしました。昭和に続く平成も残り半年となりました。着工の年は私たち夫婦が結婚した年でもあり個人的には、人生の節目のような感慨を感じる今日この頃です。

児童事業本部長 高橋久雄

## 事業本部情報

### ♥児童事業本部♥

さわやかな秋晴れの日々が続きます。先月は元気いっぱい楽しい運動会「しせいのこうんどうかい」を無事に行うことができました。地域の皆様にはたくさんのご支援をいただき心より感謝申し上げます。有り難うございました。

さて、子ども達の次なる目標は、毎年恒例となりました「テレビ朝日福祉文化事業団主催の子どもキラット楽演祭」に創作舞踊と全員合唱で出演します。年間を通して金曜日には舞踊の講師の先生によるレッスンを受け、日頃の成果を発表します。子ども達が音楽に合わせて自由に表現する姿に毎年感動いたします。10月26日から国際交流プログラムとしてカンボジアから2名の中学生が来日し、子ども達との交流を深めます。カンボジアの子ども達も日本での生活をとても楽しみにしております。見かけられた時はお声をおかけください。【初めまして→[チョムリアップ スオー](#)】【こんにちは→[スオスダイ](#)】

まことくらぶ障害者福祉総合化事業については、法人理事会でも進捗状況のご報告をさせていただきますプロジェクトを中心に進めております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。  
(児童事業本部 事務局長 櫻井 壽)

### ♥保育事業本部♥

世田谷区の小田急線、梅ヶ丘駅の高架下に子育てステーション梅丘があります。その中には成育しせい保育園梅丘分園、一時預り保育ほっとステイこぐまる一む、おでかけひろばマーニの3事業が同じ建物の中にあります。今年度で開設9年目になりました。梅丘分園は定員40名の0歳から就学前の子どもたちが集い生活しています。一時預り保育事業とおでかけひろば事業は世田谷区の委託事業として子育て支援制度の大きな役割を担い、地域の子育て世代の方々から親しまれています。梅丘分園は小規模の家庭的な雰囲気、近くに広い区立の羽根木公園があり日々お庭のようにして元気に遊んでいます。委託事業は年末年始のみ休園で日曜、祭日も含め通年で開かれ、子育て中の親御さんにとって心強いサポート、憩いの場所となっています。

平成32年に向けて、中長期計画で梅丘分園を本園化することを目標にまいりましたが、平成32年度本園化が決定しました。そして子育てステーション梅丘は梅ヶ丘駅高架下から世田谷区立総合福祉センターに移転し1階部分に新たに開設されます。2階3階は区立の児童相談所が併設され連携した事業が期待されているところです。その後本園化された施設は近くに移転が予定されています。今後とも法人の運営で大切な施設として努力してまいります。  
(成育しせい保育園 園長 浦井 みどり)

### ♥高齢事業本部至誠ホーム♥

軽費老人ホーム至誠和光ホームは昭和38年に開設し、今年8月で55周年を迎えました。現在50名の入居者が生活しています。収入による制約を除けば、60歳以上で身の回りのことが自分でできる方であればどなたでも入居できるため、高齢事業本部の施設の中でも比較のお元気なお年寄りが多く生活しているというのが特徴です。

もう一つの特徴として、立地にも恵まれ入居者が保育事業本部や児童事業本部関係者の方々と関わる機会を多く持っているということがあります。先日、至誠合同バザーが開催されましたが、その他にも建物の一部メンテナンスをまことクラブさんをお願いし、施設前のけやき広場ではお散歩に来た保育園児と入居者が互いに手を振り交流しています。

毎年12月には保育園児にも参加していただき、和光ホーム前で餅つきを行います。安全衛生面から最近では児童が餅つきを体験できる機会が減っていると聞いています。今年はインフルエンザが流行ることなく、子供達と楽しく無事に開催できることを和光ホーム入居者・職員皆で心待ちにしているところです。  
(至誠和光ホーム 園長 中川謙夫)

## 本部事務局だより

地面師らによる巨額詐欺事件が世を揺るがしている。総額63億円もの大金を巻き上げられたのは、住宅大手、積水ハウスである。舞台となったのは五反田駅にほど近い老舗旅館跡地であるが、近隣では知られた、いわくつき物件である。そんな傷物に一流会社がまんまと騙されたのだからワイドショーのネタにならない訳がない。しかし、よく考えてみれば、この会社のガバナンス・コンプライアンスはいったいどうなっているのだろうか？

積水ハウスの会長は「詐欺事件の責任を明確化すべきだ」として、取締役会でA社長の解任動議を提案したが、10人の取締役の採決で賛成5反対5となり否決された。これに対しA社長は「新しいガバナンス体制を構築する」として会長の解任動議を出し6対4の賛成多数が濃厚となり会長は辞任に追い込まれた。契約を主導したA社長は、会長から責任を取らされることを恐れて、先手を打って取締役会の多数派工作をして会長を辞任に追い込んだのである。記者会見で「ガバナンスに反省すべきところがあった」と強調したのだから驚きである。あたかもA社長の責任を追及しようとした会長が悪かったといわんばかりである。ガバナンスは使いようによっては毒にもなるということである。  
(法人事務局 局長 野島忠幸)

<編集後>日毎に冷氣加わる季節となり、紅葉を楽しみにしていますが、今年はあまり期待できないのでしょうか…台風の影響で海から塩分を大量に含んだ強風が吹き付け、葉っぱが脱水状態で枯れてしまっているんだそうです。